

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(3 年計画の 3 年目)

1. 研究課題

東アジア伝統医療文化の多角的考察

Study on Various Aspects of Traditional Medical Culture in East Asia

2. 研究代表者氏名

大形 徹

OHGATA Toru

3. 研究期間

2014 年 4 月 - 2017 年 3 月 (3 年度目)

4. 研究目的

東アジアの伝統医療は、鍼術、灸法、按摩マッサージ、骨接ぎの諸技法、方剤調合を中心とする薬物療法を中心として大いに発展し、道教、仏教、陰陽道における宗教的な呪法、内丹、瞑想等の身体技法、あるいは世俗に流行した長寿達成の養生術、丹薬、年中行事に組み込まれていく民間信仰等々と相互連環することで特有の文化複合体を構築してきた。そこで、伝統医療文化を総合的に研究するためのフレームワークとして、医学史家だけではなく、現代医薬学の専門家や臨床医、鍼灸師と思想、宗教、科学の諸分野で文献研究を推進する研究者を一堂に集めて、文理横断的な視点から多角的、複眼的な考察を繰り広げ、医療文化の総体に構造的把握を試み、理論的特質や可能性を探る。そして、日中韓三国の伝統医学や医学史研究の現状を踏まえて、統合医療、チーム医療といった今日的な動向のなかで鍼灸医術や漢方薬研究が歩むべき道を討議し、伝統医学の立場から医療文化の未来像を提言する。

5. 本年度の研究実施状況

東アジア伝統医療の全体像とその文化的特色を構造的に把握するために、医者、鍼灸師、薬剤師、医学史研究者に加えて諸領域の人文学研究者を結集して研究集会を開催した。今年度は、鍼灸師、漢方家の中心となる団体組織である温知会、三考塾、杉山真伝流遺徳顕彰会の中心リーダーを招聘し、創始者の矢数道明氏、寺師睦宗氏や杉山和一関連資料に関する話題を提供してもらい、千葉大学医学部で漢方教育を行う和漢診療科長の並木隆雄氏に現状や問題点を報告してもらったりなど、現代医療における鍼灸医術、漢方薬の現状や可能性を多角的に考察した。また、科学史、医学史、道教思想の見地からも伝統医療文化の枠組みに考察を試みた。 研究を推進するに当たっては、国内外の研究機関との連携を深め、共同研究

を推進する体制作りを行った。国内においては、伝統医学の研究プロジェクトを推進する北里研究所東洋医学総合研究所、国文学研究資料館(研究リーダー、陳捷教授)と合同で研究を行った。中医学、韓医学の研究機関とは、4月には韓国から客員教授として招聘した安相佑氏(韓国韓医学研究院責任研究員)を中心に韓医学の研究者を招聘して国際ワークショップを開催し、6月には兵庫医科大学中医薬孔子学院との共催イベントを実施した。

7. 本年度の研究実施内容

2016-04-17

日韓伝統医学の交流と比較—自国化と漢方復興

基調講演「朝鮮医書誌の新展開」

発表者 安相佑 韓国韓医学研究院・責任研究員、
京都大学人文科学研究所・招聘客員教授

第1部:<韓国医学史研究の射程:自国化の道>

司会 大形徹 大阪府立大学・教授

『医方類聚』文化事業方案研究

発表者 車雄碩 慶熙大学校附設晴崗韓医学歴史文化研究センター・センター長

『郷薬集成方』と『医方類聚』時代の韓国医学

発表者 姜延錫 円光大学校韓医科大学医史学教室・副教授

朝鮮の食治伝統と発展過程

発表者 金賢卿 慶熙大学校韓医科大学医史学教室・兼任講師

第2部:<日韓における伝統医学の復興と現状>

司会 大形徹 大阪府立大学・教授

矢数道明と漢方復興運動

発表者 矢数芳英 温知堂矢数医院・副院長、東京医科大学病院麻酔科・兼任講師

韓医学からみた伝統医学復興の諸問題

発表者 金南一 慶熙大学校韓医科大学・学長

第3部:<朝鮮古医書の伝来と日韓医学交流>

司会 武田時昌 京都大学人文科学研究所・教授

2016-06-04

伝統医療文化国際ワークショップ 2016-6

(学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院との共催イベント)

中国初の生理学・医学ノーベル賞—中医薬古典からの啓示

発表者 戴毅 中医薬孔子学院・副院長、兵庫医療大学薬学部・教授

古代における馬医鍼灸学について

発表者 中吉隆之 関西医療大学・講師

身体技法としての“虚心実腹”

発表者 野村英登 二松学舎大学・非常勤講師

易筋経と中国養生

発表者 陳邦徳 台湾 007 人体健康会社・社長、楊氏老架大極拳田八代伝人
司会 梁永宣 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院・副学院長、
北京中医薬大学・教授

2016-09-04

現代医学のなかの漢方

不妊治療の最前線—寺師睦宗先生の語る漢方治療

発表者 武田時昌 京都大学人文科学研究所・教授

コメンテーター 西巻明彦 日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館・副館長、客員教授、
西巻歯科院・院長

漢方医学にみる具体的地盤の探究

発表者 西巻明彦 日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館・副館長、客員教授、
西巻歯科院・院長

大学における漢方医学教育の現状と問題点

発表者 並木隆雄 千葉大学医学部附属病院和漢診療科・科長

2016-10-02

A Map of Melancholy in China: The Networks that Chocolate Created

発表者 Beatriz Puente-Ballesteros

澳門大学人文社科樓歴史系・Assistant Professor

コメンテーター 久保輝幸 武漢工程大学外語学院・校聘教授

当道座と杉山流鍼灸あん摩術の成立と系譜

発表者 大浦慈観 杉山真伝流遺徳顕彰会・理事、
北里研究所東洋医学総合研究医史学研究部・客員研究員

2017-02-05

安保徹の世界

「こころ」と「からだ」をつなぐ健康学 —「白血球の自律神経支配」の発見と 2つのエネルギー
産生系の連関

発表者 渡邊真弓 新潟大学医歯学総合病院医療情報部

centenarian を免疫学から考える

発表者 富山智香子 新潟大学医学部保健学科

「こころ」と「からだ」をつなぐ健康学・補足—臨床の写真とデータ

発表者 渡邊真弓 新潟大学医歯学総合病院医療情報部
司会 七里佳代 新潟大学保健管理センター

2017-03-05

『有林福田方』『悲田方』について

発表者 浦山きか 森ノ宮医療大学・客員教授

六部定位脉診について

発表者 浦山久嗣 赤門鍼灸柔整専門学校・専任教員

伝統医学の国際標準化をめぐる一名称を欲する身体

発表者 東郷俊宏 東京有明医療大学・教授

8. 共同研究会に関連した公表実績

<公開講演会>

2016年6月4日 伝統医療文化国際ワークショップ 2016-6(学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院との共催、兵庫医科大学総合研修棟・中医薬孔子学院多目的ホール)

<展示会>

2016年11月1-3日 京都医学史展 2016(第24回医療文化サロン展)(京都半井家等と共催、護王神社護王会館)

<雑誌記事>

2016年11月2日 京都新聞朝刊:京都医学史展 2016 の紹介記事

10. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数	参加人数				延べ人数			
		総計	外国人	大学院生	若手研究者	総計	外国人	大学院生	若手研究者
所内	1	2 (1)	0	0	0	12 (6)	0	0	0
学内	1	6 (6)	4 (4)	4 (4)	5 (5)	16 (15)	10 (9)	14 (13)	5 (5)
国立大学	2	6 (5)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	17 (10)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
公立大学	2	5 (1)	0	1 (1)	1 (1)	20 (5)	0	5 (4)	4 (0)
私立大学	15	27 (12)	5 (1)	5 (2)	7 (3)	54 (27)	5 (2)	8 (4)	14 (10)
大学共同利用機関法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
独立行政法人等公的研究機関	1	2 (1)	0	0	0	4 (1)	0	0	0
民間機関	8	9 (6)	0	0	0	16 (10)	0	0	0
外国機関	10	14 (6)	13 (5)	2 (2)	3 (3)	17 (9)	14 (6)	2 (2)	4 (4)
その他	20	26 (13)	1 (1)	0	5 (4)	36 (19)	5 (5)	0	5 (5)
計	59	97 (51)	24 (12)	13 (10)	24 (18)	192 (102)	35 (23)	30 (24)	33 (25)

※()内には、女性数を記載

11. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

参加研究者がファーストオーサーであるものを対象

総論文数	50(41)
国際学術誌に掲載された論文数	8(8)

※()内には、拠点外の研究者による成果(内数)を記載

論文における重要な役割を果たした実績を示す必要がある場合

役割	ファーストオーサーではないが共著者である。
総論文数	8(8)
国際学術誌に掲載された論文数	6(6)

※()内には、拠点外の研究者による成果(内数)を記載

インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合

掲載雑誌	掲載論文数	主なもの	
		論文名	発表者名
Health	6	The association between self-monitored reproductive parameters, pregnancy outcomes and acupuncture treatment.	<u>渡邊 真弓ほか</u>
上海中医薬大学 60 周年慶、出土医学文献研究国際研究会 論文集	2	「關於《陰陽五行甲篇》所見的“病”」	<u>名和敏光</u>
大陸橋 2016 徐福文化与「一带一路」城市文化産業国際論壇(論文集)	1	対徐福尋找的仙薬(靈芝)和仙人的探究—以圖像資料為線索	<u>大形徹(樊士進 訳)</u>
中国人民大学・美国羅格斯大学 首届国際道教文化前沿論壇 論文集	1	《千金翼方・禁經》与日本奈良市出土二條大路咒符木簡	<u>大形徹・山里純一・大野 朋子・佐々木 聡・董 涛・池内早紀子</u>
山口裕文・金子務・大形徹・大野朋子編『「中尾佐助 照葉樹林文化論」の展開 — 多角的視座からの位置づけ』北海道大学出版会	1	『莊子』にみえる植物—扶搖・冥靈・大椿・檇—	<u>大形徹</u>
斯文	2	漢代以前の医学資料概観	<u>猪飼祥夫</u>
漢方の臨床	6	四川成都老官山の医学資料概観(下)	<u>猪飼祥夫</u>
薬史学雑誌	1	薬史による語誌—薬味と料理	<u>真柳誠</u>
漢方と最新治療	1	医食同源の由来:古典籍にみる論理と歴史	<u>真柳誠</u>
医学評論	1	現代中国針灸学の形成に与えた日本の影響	<u>真柳誠</u>
人文コミュニケーション学科論集	2	韓国国立中央圖書館の古醫籍書誌	<u>真柳誠</u>
日本未病システム学会雑誌	1	〈未病を治す〉の医学哲学的背景	<u>館野正美</u>
日本大学人文科学研究所 研究紀要	1	松田直『吐方私録』攷	<u>館野正美</u>

中国語中国文化	1	永富独嘯庵の吐方について—『吐方考』と『漫遊雑記』を中心に—	<u>館野正美</u>
鍼灸美容学	1	鍼灸美容学	<u>王 財源、中吉 隆之ほか</u>
関西医療大学紀要	1	中国古代哲学が鍼灸学の成立に与えた影響について——諸子百家よりの考察——	<u>王 財源</u>
藤門医林	1	陽明病の「胃家実」や「難経」に対する近年の新たな学説	<u>松岡尚則ほか</u>
臨床眼科	1	十四経發揮	<u>安部郁子、松岡 尚則</u>
おけら	2	大帝国医学としての傷寒論	<u>濱口昭宏</u>
「ぜんそく持ち」をやめる本	1	「ぜんそく持ち」をやめる本	<u>渡邊 真弓共訳 (監修)</u>
O-CHA 学 8	1	古典に見る茶の効能	<u>岩間真知子</u>
茶の湯文化学	1	日本と中国の蠟茶と香茶	<u>岩間真知子</u>
全日本鍼灸学会学術大会抄録集 65 回	1	『黄帝蝦蟇經』にみえる疾患・症状の一考察 黄帝蝦蟇圖隨月生毀避灸判法第一での検討	<u>家本 旬二、大 形 徹</u>
Traditional & Kampo Medicine	2	Quick and easy preparation method for decoctions of kampo formula (part 3): Extraction efficiency of the IPCD method for volatile compounds	<u>Tsukasa Fueki, Megumi Sumino, Toshiaki Makino, Takanori Matsuoka, Masashi Beppu, Koichiro Tanaka, Takao Namiki</u>
Medical Acupuncture	1	Does electroacupuncture influence skin temperature, skin blood flow, and muscle blood volume among stimulation sites?	<u>渡邊 真弓ほか</u>
Japan Eastern Medical	1	The correlation between traditional	<u>Nagano G.</u>

Association		tongue inspection and modern assays of white blood cells. Eastern Medicine	<u>Koshizawa J.</u> <u>Watanabe M.</u> <u>Kainuma E</u> <u>and Zaigen</u> <u>OH</u>
日本東洋医学雑誌	1	宋代の煮散法にヒントを得た簡便かつ成分抽出効率良好な煎薬調製法の開発(第2報) 生薬残渣の簡便な分離法	<u>笛木司、牧野利明、松岡尚則、別府正志、須永隆夫、田中耕一郎、並木隆雄</u>
頼山陽史跡資料館 平成二十八年度特別展 頼家と広島 <small>の</small> 医学	1	頼山陽史跡資料館 平成二十八年度特別展 頼家と広島 <small>の</small> 医学	<u>松岡尚則ほか</u>
医薬の門	4	小島宝素堂始末(その1~4)	<u>多田伊織</u>
皇學館史學	1	出土文献から見る古代日本の医書輸入	<u>多田伊織</u>
医道の日本	9	アンチ傷寒論者の挑戦—温病学の問題圈 1	武田時昌

※拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す

15. 研究成果公表計画および今後の展開等

参加メンバーによる研究成果論文集を計画している。